スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

鹿児島県　いちき串木野市

自 治 体 名 ： 鹿児島県いちき串木野市
担 当 課 名 ： 学校教育課
電 話 番 号 ： 0996-21-5127

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

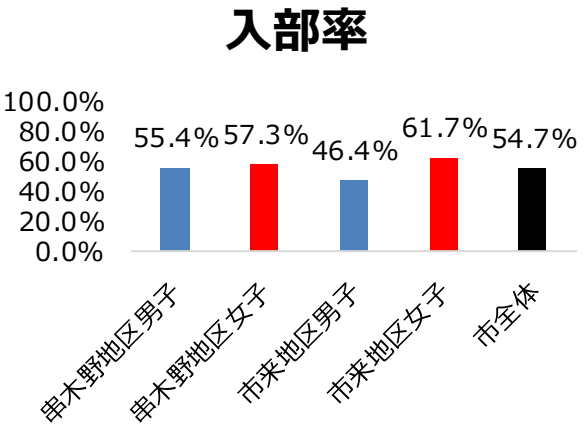
面積	112.30 ㎢
人口	25,753 人
公立中学校数	5 校
公立中学校生徒数	679 人
部活動数	26 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市には、5つの公立中学校があり、生徒数は令和６年６月１日現在で679人在籍している。部活動は、26部活動あり、運動系23部活動、文化系3部活動である。学校部活動における加入率は54.7%で、今後、生徒数の減少等により学校部活動が存続できるかが大きな課題である。休日の部活動の地域移行に向けて令和5年度に地域部活動推進協議会を設置し、年3回の協議を経て、今年度は1校(市来中学校)をモデル校として5つの部活動について12名の地域指導者による休日の地域移行を実施した。地域指導者の確保については、部活動コーディネーターを中心に関係団体と連携を図りながら人材の確保に努めているところであるが、適正人材の数を確保することは課題である。また、令和7年度にはモデル校を1校(串木野中学校)拡充し、令和8年度の休日の完全移行に向けて取り組んでいる。

地域部活動推進協議会については、令和7年度も継続して開催し、子供たちが将来にわたってスポーツや文化活動に親しめる環境づくりや、持続可能な部活動と教職員の負担軽減を図ることをねらいとした環境の一体的な整備について協議し、生徒、保護者、地域へ向けた広報紙や市HPによる周知及び教職員、保護者を対象にした説明会を実施していく予定である。

また、今年度から設置した部活動コーディネーターは、学校と地域指導者の連絡調整及び関係機関との連携による指導者の人材発掘、参加者の保険加入業務、地域移行に関する周知や広報など円滑な実施に向けて取組みを行ってきた。令和7年度も継続して取組む予定である。

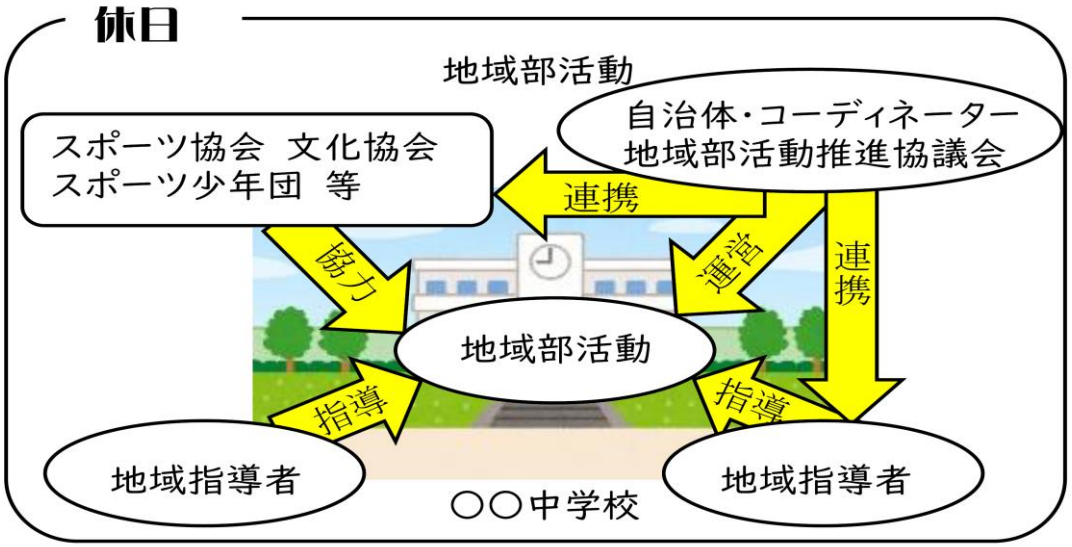


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
(学校教育課)
・休日の部活動の地域移行の計画立案・実施
・ いちき串木野市地域部活動推進協議会事務局(開催・運営)
・ 各関係機関との連携体制の整備

◉首長部局
・ 現時点では、部活動の地域移行に関するすべての業務を教育委員会が担当している。

年間の事業スケジュール

令和6年4月	実施準備・地域指導者打合せ
令和6年5月	アンケート実施(市スポーツ協会・市スポーツ少年団の加盟団体) 地域部活動の活動開始(5部活動) 第1回地域部活動推進協議会開催
令和6年6月	アンケート実施(生徒・保護者・教職員) 地域指導者・保護者向け研修会の実施
令和6年8月	第1回部活動地域移行通信発行
令和6年9月	アンケート実施(市スポーツ協会・市スポーツ少年団の加盟団体) 地域指導者意見交換会の実施
令和6年10月	第2回地域部活動推進協議会開催
令和6年12月	アンケート実施(実証事業参加の生徒・保護者・地域指導者・顧問) 第2回部活動地域移行通信発行 令和7年度実証事業参加校説明会開催（教職員）
令和7年1月	令和7年度実証事業参加校説明会開催(保護者) 地域指導者意見交換会の実施
令和7年2月	第3回地域部活動推進協議会開催
令和7年3月	第3回部活動地域移行通信発行

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	市来中学校	実施した地域クラブ総数	4 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		4クラブ（4部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	11 人	全体の運営スタッフ数	1 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
市来中バドミントンクラブ	いちき串木野市	バドミントン	週1回	午前又は午後３時間	1年生～3年生	5月～1月	学校施設	2 人	0人	会費なし	地域クラブ
市来中弓道クラブ	いちき串木野市	弓　　道	週1回	午前又は午後３時間	1年生～3年生	5月～1月	学校施設	2 人	0人	会費なし	地域クラブ
市来中野球クラブ	いちき串木野市	野　　球	週1回	午前又は午後３時間	1年生～3年生	5月～1月	学校施設	1 人	0人	会費なし	地域クラブ
市来中女子バレーボールクラブ	いちき串木野市	バレーボール	週1回	午前又は午後３時間	1年生～3年生	5月～1月	学校施設	6 人	0人	会費なし	地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

● 実績はありません。

2.実証内容と成果

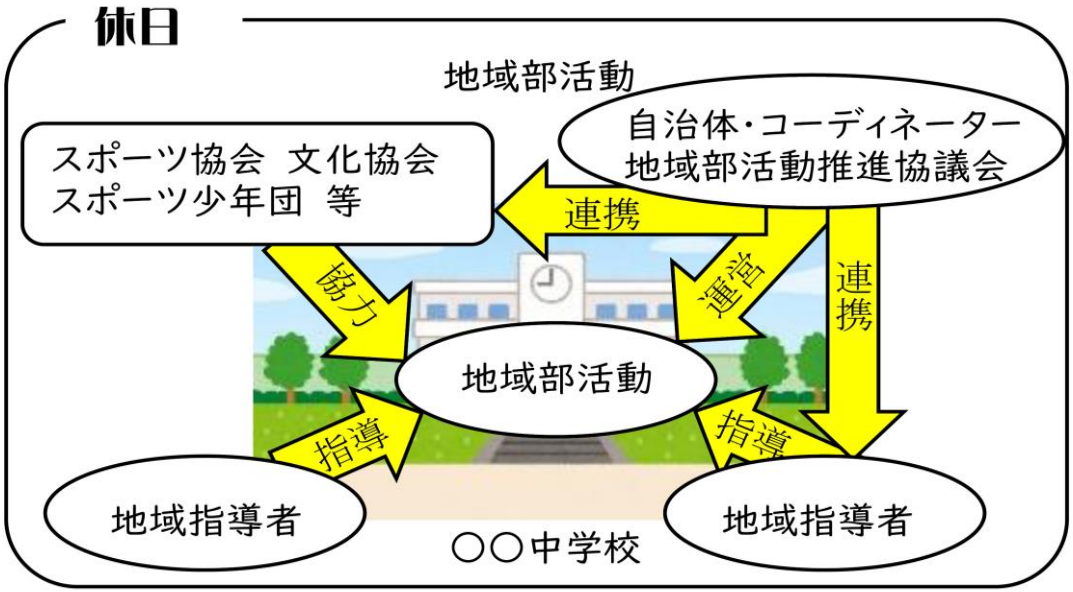
スポーツ庁

主な取組例

●市来中学校クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール、軟式野球、バドミントン、弓道
運営団体名	いちき串木野市
期間と日数	バレーボール、軟式野球、バドミントン、弓道 期間：5月1日～1月31日 日数：月3回～4回程度
指導者の主な属性	地域部活動指導者
活動場所	市来中学校
主な移動手段	自転車、徒歩
１人あたりの参加会費等（年額）	すべての活動で会費なし
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●地域部活動コーディネーター

役割：地域人材の確保や学校と指導者との連絡調整等の課題への総合的な取組を行う。

●地域部活動指導者　11名

役割：部活動の顧問と連携・協力して実技の指導等を行う。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

・いちき串木野市地域部活動推進協議会開催(３回)
・地域部活動コーディネーターによる関係団体・学校・地域指導者等との連絡調整の体制整備に関する取組

取組の成果

・第1回いちき串木野市地域部活動推進協議会において、部活動の地域移行に向けた活動方針が決定し、今後の取組について承認を得た。第2回協議会では、令和7年度の実証事業のモデル校を1校(市来中学校)から2校(市来中学校・串木野中学校)に増やすことが決定し、地域部活動の拡充を図っていく。第3回協議会では、今年度の実証事業の成果と課題等について協議した。
・地域部活動コーディネーターを設置したことで、特に学校と地域指導者との連絡調整が円滑に行われた。

地域部活動推進協議会委員（15名）
1 市スポーツ協会長
2 市文化協会長
3 市スポーツ少年団本部団長
4 市PTA連絡協議会代表
5 各中学校長（管内５中学校）
6 市中学校体育連盟理事
7 中学校文化系部活動顧問代表
8 市教育委員会教育委員代表
9 市教育委員会教育総務課長
10 市教育委員会学校教育課長
11 市教育委員会社会教育課長

〔以下事務局〕
地域部活動コーディネーター
市教育委員会教育総務課長補佐
市教育委員会学校教育課長補佐
市教育委員会社会教育課長補佐
市教育委員会学校教育課指導主事

コーディネーターの具体的な動きの実績

・地域指導者の保険加入の手続き　・毎月の地域指導者への謝金の支払い　・アンケートの実施(4回)　・地域部活動通信の発行(3回)　・地域部活動推進協議会の運営(3回)　・地域指導者および保護者向けの研修会の実施　・地域指導者との意見交換(2回)　地域指導者の発掘等

今後の課題と対応方針

・地域指導者の質と量の確保について、引き続きスポーツ協会、スポーツ少年団など関係団体と連携を図る。また、人材バンクの設置等を検討する。
・地域移行の運営に係る経費について、保護者の費用負担等を検討するため、学校、保護者等と協議する。また、参考となる他市の事例などの情報収集を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

・地域指導者および保護者合同の研修会を開催し、部活動地域移行の今後のスケジュールの説明と熱中症予防策について研修を行った。(6月27日)
・市スポーツ少年団本部・指導者協議会合同研修会に地域指導者が参加し、「子供の豊かな未来を作るスポーツマンシップ」について研修した。(1月21日)
・地域指導者等意見交換会の実施(９月18日・１月22日)
・市スポーツ協会・市スポーツ少年団等との連携による地域指導者の人材確保

取組の成果

・参加した地域指導者や保護者から、今後の地域移行について理解でき、熱中症予防策について学ぶことができて良かったとの意見が多かった。
・スポーツ少年団の指導者と一緒に「指導者にとってのスポーツマンシップ」について学ぶことができ、地域指導者の質の向上に繋がった。
・地域指導者、校長、教頭、地域部活動コーディネーター、教育委員会が一堂に会する意見交換会において、地域移行の実施について課題や地域指導者が抱える悩みを出席者全員が共有することで円滑な運営が図られた。
・令和7年度から部活動の地域移行に取り組む予定の串木野中学校の9の運動部活動の地域指導者について、市スポーツ協会・市スポーツ少年団等との連携により、7部活動(地域指導者7名)について確保できる見込みである。



【地域指導者および保護者合同研修会の様子】

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

①今年度部活動の地域移行に取り組んでいる市来中学校の保護者および地域指導者を対象に合同の研修会を実施した。内容は、「部活動地域移行の今後の方針とスケジュールについて」「熱中症予防策について」である。

②市スポーツ少年団本部・指導者協議会合同研修会に地域指導者も参加した。内容は、「子供の豊かな未来をつくるスポーツマンシップ」と題し、勝利とスポーツマンシップはトレードオフの関係ではなく、自己を律し高めるための概念であり、両立を目指していくという指導者にとってのスポーツマンシップについて研修した。

指導者研修の参加実績

①開催日：6月27日　・参加人数： 10人
②開催日：１月21日　・参加人数：　4人

受講者の声

①「講師の説明が分かりやすくて良かった」「これからの活動に活かしていきたい」「熱中症予防について、再確認することができた」「生徒たちにも聞かせたい内容でした」など有意義な意見ばかりだった

②「子供たちの指導に活かしていきたい」という意見が多かったが、「内容的に難しかった」「分かりづらかった」などの意見もあった。

今後の課題と対応方針

・参加者が少ない：対象者への事前周知を徹底する。
・近くに適した講師がいない：国の講師派遣事業等を活用する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

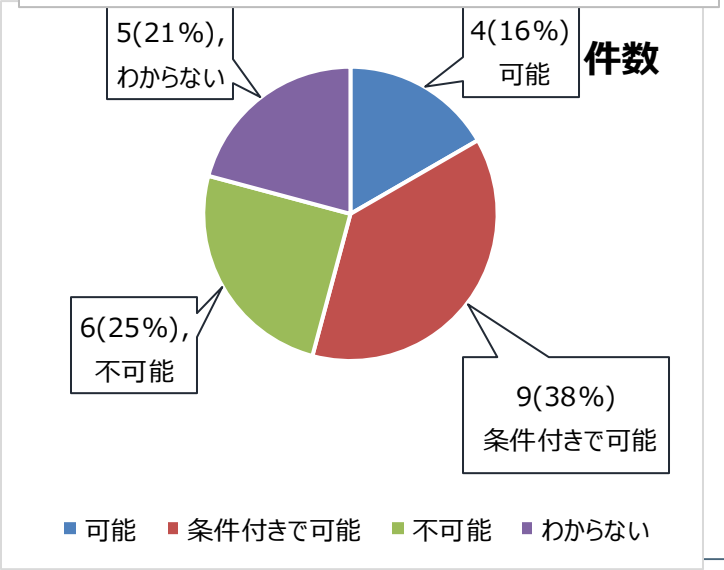
取組事項

・地域部活動推進協議会の委員に、市立中学校長・市スポーツ協会代表・市スポーツ少年団代表・市PTA連絡協議会代表、市文化協会代表、体育・文化系理事、関係各課長を協議会委員とした。
・地域部活動コーディネーターによる関係団体との連携

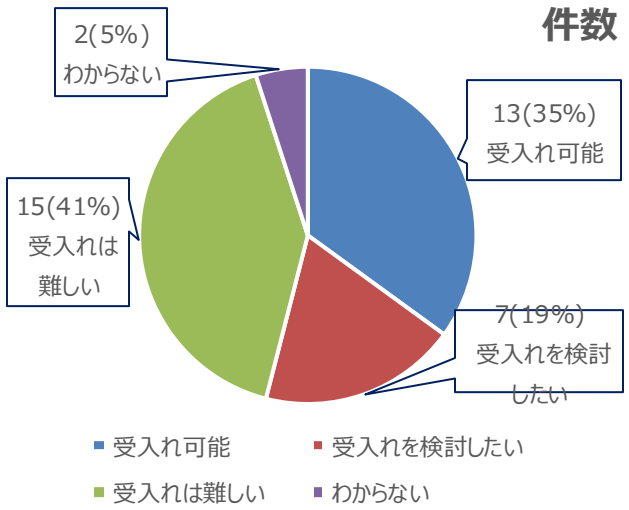
取組の成果

・校長を通じて各中学校の教職員・生徒への周知が図られた。
・市スポーツ協会など関係団体に対して地域指導者の人材派遣や中学生の受入れについてのアンケート協力の要請を行った。アンケートの結果、人材派遣できるかの質問については、回答があった24件中「可能」「条件付で可能」とした件数は、13件で約5割だった。また、中学生を受け入れることができるかの質問に対して、回答があった37件中「受入れ可能」「検討したい」と回答した件数は、20件で約5割だった。
・地域部活動コーディネーターの設置により、特に学校と地域指導者との連絡調整が円滑に行われた。

貴団体のメンバーから、中学校部活動に地域指導者として人員を派遣していただくことは可能ですか。
【地域移行に向けたスポーツ指導者アンケート】



貴団体で中学生を受け入れることができますか。
【地域移行における中学生の受入状況アンケート】



今後の課題と対応方針

・今後は、市以外の運営主体の体制整備、指導者の人材確保等が課題となるため、市スポーツ協会・市スポーツ少年団等の関係団体との連携を強化していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

〇地域部活動推進協議会において、令和7年度の地域移行を1校（市来中）から2校（市来中・串木野中）へ拡充することを決定した。
〇地域部活動推進会議において、令和6年度に実施している市来中野球部の地域部活動について、令和7年度に市来中と他4校合同による地域部活動の実施について了承を得た。

各自治体の役割

〇いちき串木野市教育委員会
・運営主体として地域部活動の運営
・予算管理
・地域指導者、学校、関係団体との連絡・調整
・諸謝金支払い等の事務処理

移動手段

〇2校それぞれの学校部活動をベースにした地域部活動を実施する予定のため、生徒の移動手段は徒歩等になる。

〇活動場所は、市来中を予定しているため、活動場所までの移動手段は、保護者の送迎等を想定している。

事務局運営の方法

・いちき串木野市教育委員会に地域部活動事務局を設置
・地域部活動コーディネーターが地域指導者、学校等との連絡調整を実施

取組の成果

〇令和7年度に向けて地域移行の拡充が図られる。
〇多様なスポーツ・文化活動の機会を確保するという観点から、令和7年度に向けて市内中学校5校による合同の地域部活動が実施可能となる。

今後の課題と対応方針

〇指導者の人材確保は、大きな課題であるため、市スポーツ協会・市スポーツ少年団等との連携を行い、令和8年度末までに、市内の全ての運動部活動について地域部活動への移行を目指す。
〇受け入れる地域部活動の指導者、学校等と連携し、受入れ体制の整備を行う。そして、他の地域部活動について、合同の地域部活動の拡充を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

・市来中学校のバドミントン部、弓道部、女子バレーボール部、野球部において、５月から11名の地域指導者が指導する休日の部活動の地域移行を実施した。

・市来中学校の地域部活動の指導者、校長、教頭、地域部活動コーディネーター、教育委員会が一堂に会して地域移行に関する意見交換会を９月と1月の2回実施した。

活動の詳細

参加人数	86 人	指導者数	11 人
属性	地域クラブ活動		
具体的な内容	市来中学校のバドミントン部、弓道部、女子バレーボール部、野球部において、５月から11名の地域指導者が指導する休日の部活動の地域移行を実施した。11名の地域指導者のうち、4名は顧問が兼職兼業で指導にあたった。		
子供の声	● 指導者がわかりやすく指導してくれた。 ● 専門的な指導が受けられた。 ● 活動時間を増やしてもいいと思った。 ● 細かいところを沢山教えてもらったり、様々なコツを教えてもらったりしてよかった。		
関係者の声	● 指導者に安心して任せることができた。 ● 中学生の成長を間近で見ることができた。 ● 専門的な指導により、生徒が満足している様子が見受けられた。 ● 平日の部活動と休日の地域部活動で、地域指導者との連携が難しかった。		
運営経費	地域指導者の謝金、保険料等は国の委託事業を活用し、中学生の保険料については、受益者負担とした。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

取組の成果

・実証事業に参加した市来中学校の生徒・保護者・指導者・顧問に対し12月6日～12月27日にアンケートを実施した。

生徒の満足度については、「とても満足している」が37%で「満足している」が52%の回答があり、合わせると8割以上を占め、実証事業に参加したほとんどの生徒が満足している結果となった。

保護者の満足度については、「とても満足している」が14%で「満足している」が64%の回答があり、合わせると約8割を占め、実証事業に参加したほとんどの保護者が満足している結果となった。

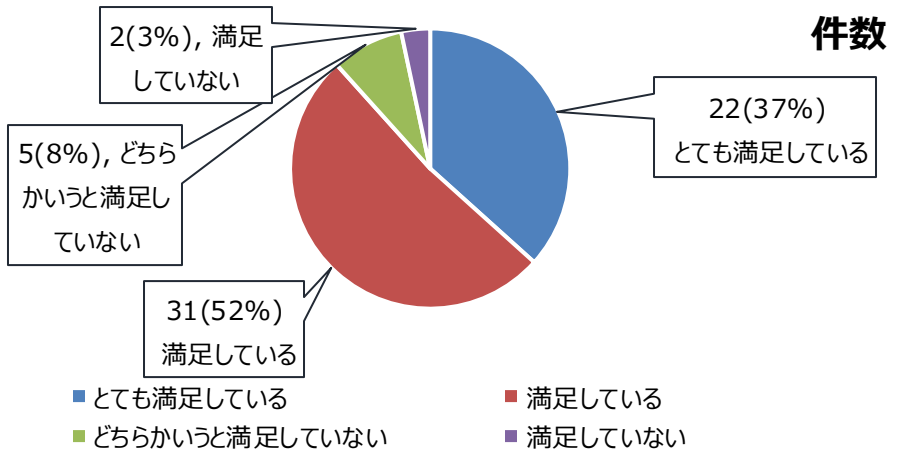
・市来中学校の地域部活動の指導者、校長、教頭、地域部活動コーディネーター、教育委員会が一堂に会した地域移行に関する意見交換会において、課題や地域指導者が抱える悩み等を共有することで、円滑な運営が図られた。

今後の課題と対応方針

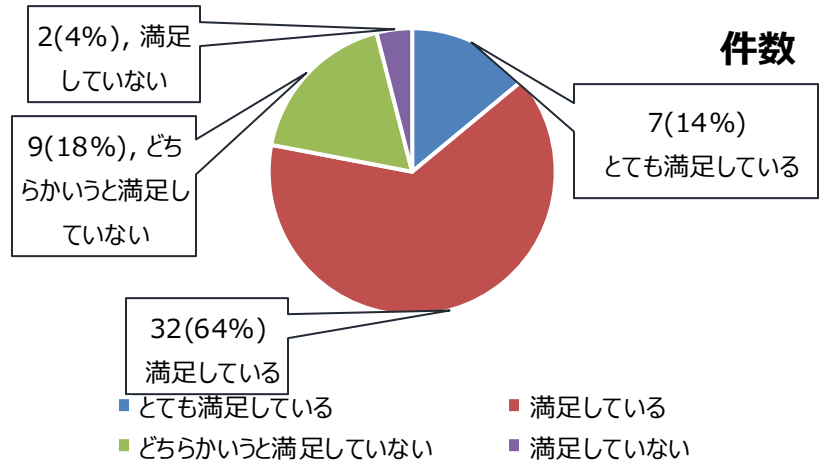
・　地域指導者の質と量は、今後も大きな課題であるため、研修等による質の向上を図り、市スポーツ協会・市スポーツ少年団等と引き続き連携していく。また、人材バンク等の検討を行う。

・　地域指導者への謝金を含めた地域移行の運営に係る経費について、地域部活動を行う学校、保護者等と協議する。

生徒の実証事業（部活動の地域移行）の満足度についてお伺いします。
【部活動の地域移行に向けた実証事業モデル校アンケート】



保護者の実証事業（部活動の地域移行）の満足度についてお伺いします。
【部活動の地域移行に向けた実証事業モデル校アンケート】



2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

・地域部活動の運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行っていく必要があることから、まずは、地域指導者への謝金を含めた地域移行の運営に係る経費の把握に努めた。

・市内4中学校の全保護者を対象に「中学校部活動の地域移行に関するアンケート」を実施し、保護者が希望する月額の経費を把握した。

・実証事業に参加した市来中学校の保護者を対象に「部活動の地域移行に向けた実証事業モデル校アンケート」を実施し、保護者が希望する月額の経費を把握した。

地域クラブに係る経費

■ランニングコストの分析

・指導者1名の謝金の上限187,200円（1,200円×3時間×52週）
・指導者1名のスポーツ安全保険料1,850円
・地区大会出場費（年間）　68,400円（5部活動）
・県体会出場費　（年間）26,300円（5部活動）
・参加費・登録料　127,900円（年間）(5部活動)

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

持続的な運営に必要な受益者負担額について、指導者謝金・保険料で試算した。

（検証結果の詳細は次ページ参照）

収支バランス

現在、地域指導者の謝金、保険料等について、国の委託事業を活用し、中学生の保険料を受益者負担としている。
今後、持続的な運営に必要な支出に見合う収入の確保に向けて、支出を精査した上で、地域部活動を実施する学校、保護者等と協議を進める必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

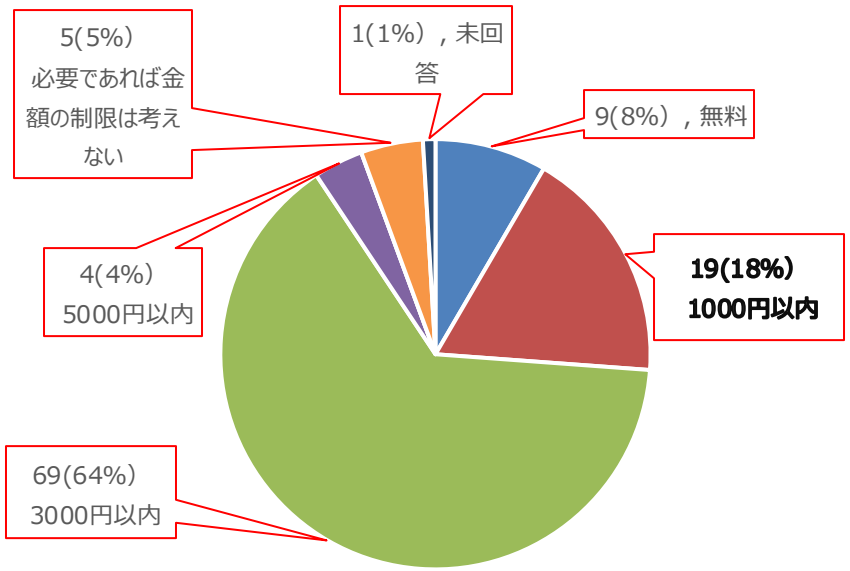
取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

・市来中学校の4つ各地域部活動を指導者1名ずつで指導するとした場合
謝金：187,200円（1,200円×3時間×52週）　保険料：1,850円
バドミントン　189,050円/28名≒6,751円（年間）562円/月
野球　189,050円/13名≒14,542円（年間）1,211円/月
弓道　189,050円/12名≒15,754円（年間）1,312円/月
女子ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ部　189,050円/14≒13,503（年間）1,125円/月
・謝金・保険料をすべての地域部活動で公平に負担する場合
189,050円×5名/86名≒10,991円（年間）915円/月
各地域部活動で負担すると部員数によって負担額に差が生じ、全体で公平に負担すれば他の地域部活動の分まで負担することになる。また、指導の回数、大会参加料、消耗品など他の経費を含めると、試算した額を大きく上回ることが予想される。
・　アンケートの結果、地域部活動に参加する際の妥当な経費として、月額3,000円以下と回答した割合が約8割だった。

学校部活動が地域移行される場合、その活動に参加するための経費（月謝）はどの程度が妥当だと思いますか。
【中学校部活動の地域移行に関するアンケート】



今後の課題と対応方針

・　アンケートの結果で、妥当な経費として月額3,000円以下の回答がほとんどだったが、謝金と保険料のみで試算してみても、部員数により、負担額の変動が生じる。それに指導の回数、大会参加料、消耗品などその他の経費を含めると、月額3,000円以内で収まるかは不確かである。また、経費の徴収、管理、支払い等を誰が、どのように行うのかなど多くの課題がある。そのため、経費の詳細を把握し、地域部活動を実施する学校、保護者等と協議を行っていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

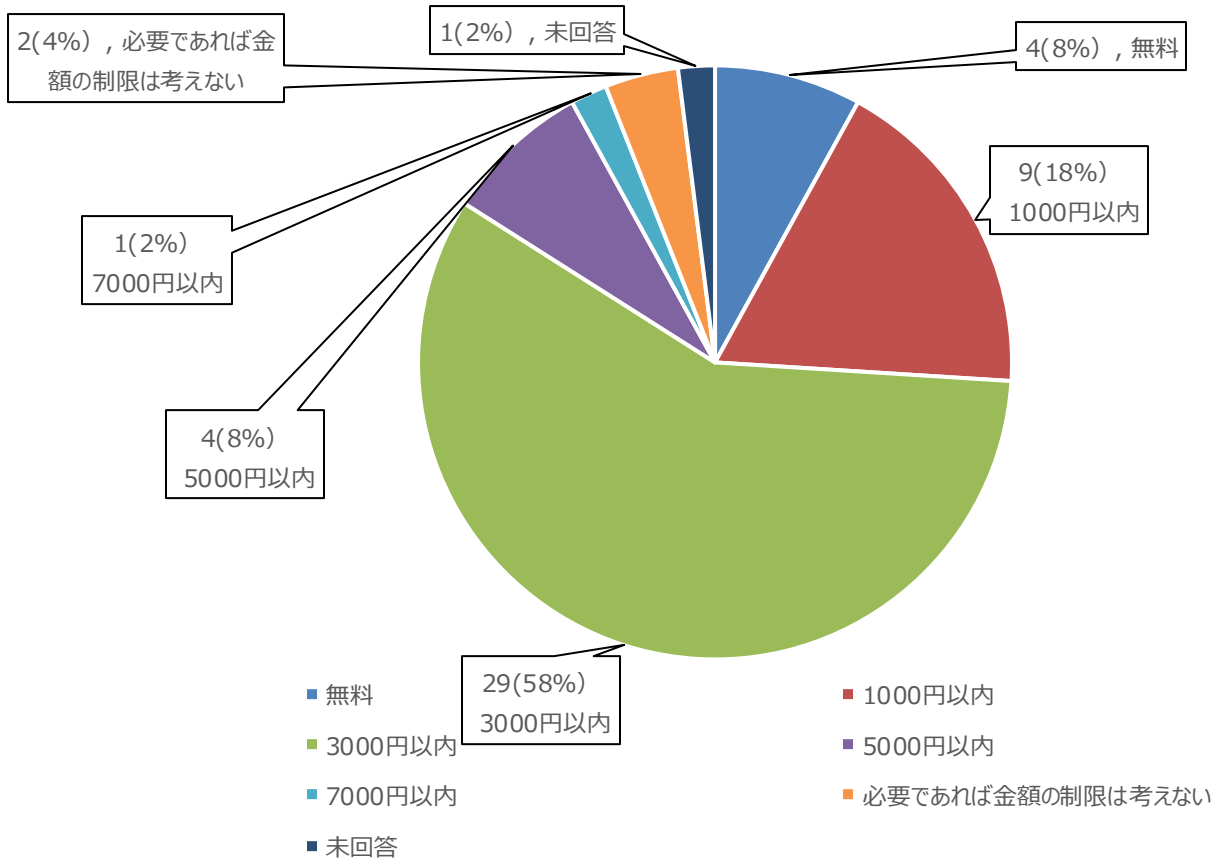
取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等③

資料

部活動が地域移行される場合、その活動に参加するための経費（月謝）はどの程度が妥当だと思いますか。

【部活動の地域移行に向けた実証事業モデル校アンケート】



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

・部活動の地域移行を進めるにあたり、活動場所として学校施設を活用した。その際、施設の開閉等について、学校、地域指導者、地域部活動コーディネーター、教育委員会と話し合いを行った。

・市来中学校を除く市内4中学校の全保護者に対して「部活動の地域移行に関するアンケート」を実施した。

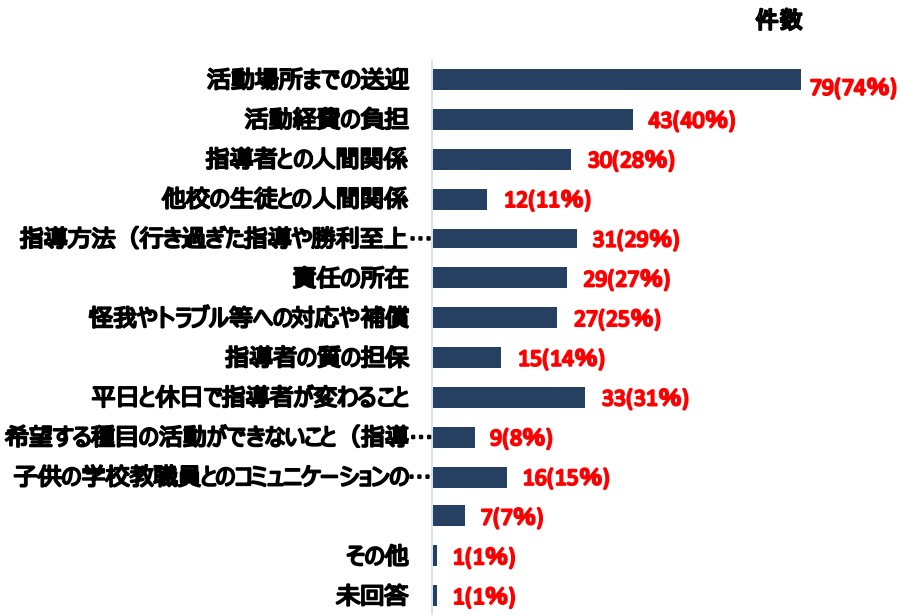
取組の成果

・活動場所として市の体育施設があるが、他の利用もあり、日程の確保が難しい。そのため、学校施設を活用することで年間を通して計画的に活動することができた。

・部活動の地域移行に関するアンケート結果で、「部活動の地域移行で心配されること」の設問では、「活動場所までの送迎」が74%と最多で、次いで「活動経費の負担」が40%となっている。

学校施設を活用することで、地域部活動のための新たな備品等を購入する必要はなく、活動場所までの移動を行う必要も無いなど保護者の負担が抑えられた。

休日の部活動を段階的に学校部活動から地域部活動に移行されることについて心配されることがあればお答えください。【複数回答可】
【部活動の地域移行に関するアンケート（保護者）】



今後の課題と対応方針

部活動の地域移行を進めるにあたり、地域部活動の拠点となる学校施設において、学校、教育委員会が連携し、持続可能な体制の構築や環境の整備が必要である。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○　実証事業として、以下のような取組みを行った。

・いちき串木野市地域部活動推進協議会を3回実施した。

・市来中学校の4運動部活動において、5月から休日の部活動の地域移行を実施した。

・市内4中学校の生徒・保護者・教職員に対して部活動の地域移行に向けたアンケートを実施した。

・部活動の地域移行における指導者の人材派遣および中学生の受入れ状況等に関するアンケートを市スポーツ協会・市スポーツ少年団に実施した。

・部活動の地域移行に向けた実証事業モデル校アンケートを実証事業に参加した市来中学校に実施した。

・地域部活動の地域指導者および保護者合同の研修会を実施した。

・市スポーツ少年団本部・指導者協議会合同研修会に地域指導者が参加した。

・部活動地域移行通信を3回発行した。

・地域指導者等との意見交換会を2回実施した。

・地域部活動コーディネーターを設置し、関係団体等との連絡調整の体制整備に関する取組みを実施した。

●成果の評価

・第1回推進協議会において、部活動の地域移行に向けた今年度の活動方針等を決定し、第2回推進協議会では、令和7年度の実証事業の拠点校1校の追加を決定して、地域部活動の拡充が図られた。

・市来中学校の4運動部活動において、地域指導者11名による地域移行を実施し、専門的な技術指導による生徒の意欲や技術の向上と顧問の負担軽減が図られた。

・市スポーツ協会・市スポーツ少年団に実施したアンケートから、地域指導者の人材派遣の現状や中学生の受入れ状況等を把握することができた。

・市内中学生の生徒・保護者・教職員に対するアンケートから、地域移行に対する考え方を把握することができた。

・実証事業モデル校アンケートから、実証事業に参加した生徒の満足度8割超、保護者の満足度約8割という回答が得られた。

・部活動地域移行通信を発行し、各中学校、市HPを通じて発信することで、地域移行に向けた取組みの周知が図られた。

・コーディネーターの設置により、特に学校と地域指導者との連絡調整が円滑に行われた。

以上のことから、実証事業の取組みについて、当初の目標を概ね達成したと考えられる。

●今後に向けて

・令和7年度は、2校を拠点校とする地域移行を予定しており、地域指導者の質と量の確保は大きな課題である。今後は、研修会等による質の向上と量の確保のため、市スポーツ協会・市スポーツ少年団等との連携を継続し、人材バンク等の検討も行う。

・地域移行の運営に係る経費について、地域部活動に参加する学校、保護者等と協議していく。

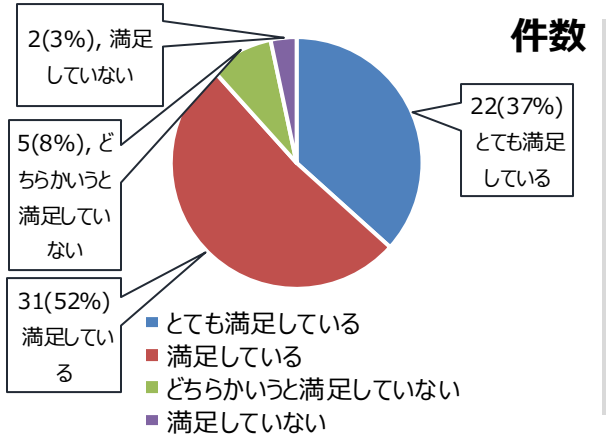
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

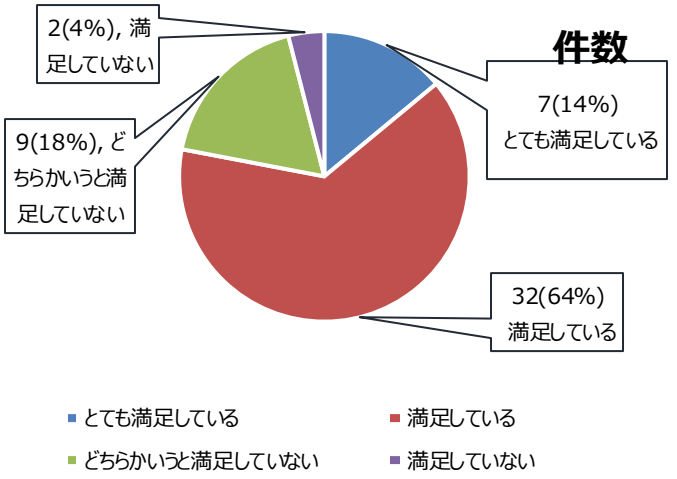
アンケート結果・参加者の声

【●アンケート結果：部活動の地域移行に向けた実証事業モデルアンケート】

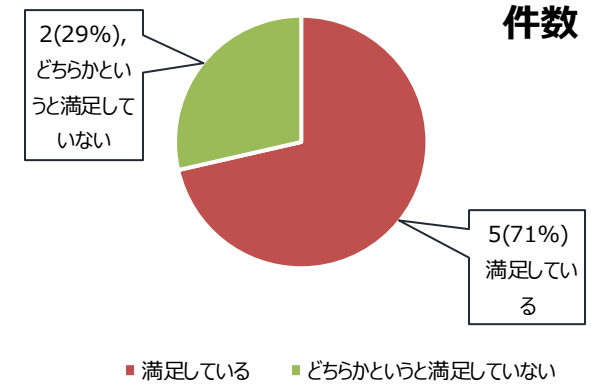
生徒の実証事業（部活動の地域移行）の満足度についてお伺いします。



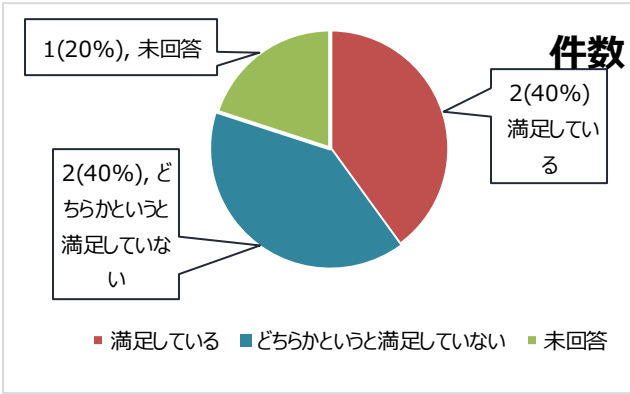
保護者の実証事業（部活動の地域移行）の満足度についてお伺いします。



指導者の 実証事業（部活動の地域移行）満足度についてお伺いします。



顧問の実証事業（部活動の地域移行）の満足度についてお伺いします。



●参加者の声

中学生
・指導者がわかりやすく指導してくれた。
・専門的な指導が受けられた。
・活動時間を増やしてもいいと思った。
・細かいところを沢山教えてもらったり、様々なコツを教えてもらったりしてよかった。

保護者
・指導者に安心して任せることができた。
・レベルアップのためにどんどん介入して欲しい。
・学校の規模、特色にあった取組みを進めていけばいいと思う。

指導者
・中学生の成長を間近で見ることができた。
・中学生が楽しく活動していた。
・地域移行を進めるためには、顧問との連携が重要である。
・平日の様子がわからず、やりにくいところがあった。

顧問
・専門的な指導で、生徒が満足している様子だった。
・自分の業務負担が少し軽減されたと思う。
・指導者との関わり方に悩みました。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

アンケート結果・広報資料

○　部活動地域移行通信

・現在、2回発行（8月・12月）しており、第3号の発行は3月を予定している。そして、学校を通じて教職員、中学校1年生から3年生の生徒、保護者、市スポーツ協会、市スポーツ少年団等に配付している。その他、市HPに公開して地域移行に向けた取組みについて周知を図った。



部活動地域移行通信　第1号

令和6年8月発行
いちき串木野市教育委員会
学校教育課　TEL 21-5127

～ 中学校部活動が変わります ～

部活動の地域移行が始まりました

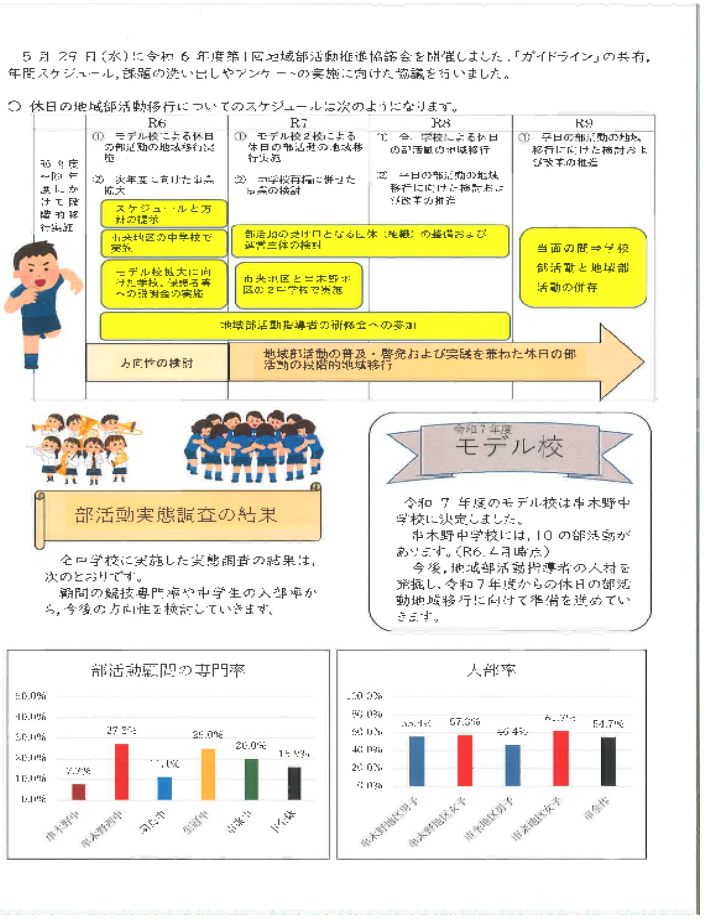
子どもたちが継続してスポーツ・文化活動に親しむ機会を確保することを目的に、昨年度から議論を進めていた中学校の部活動の地域移行について、市来中学校をモデル校として５月１日から、休日の部活動の地域移行がスタートしました。地域移行を行うのは、バドミントン部、弓道部、女子バレーボール部、野球部、吹奏楽部の５つの部活動で、市教育委員会は、１２名の地域部活動指導者を委嘱しました。

バドミントン部　女子バレーボール部　弓道部　吹奏楽部　野球部

市来中学校部活動の地域部活動指導者および保護者合同の研修会を開催

６月２７日（木）いちきアクアホールで、市来中学校部活動の地域部活動指導者および保護者を対象に合同の研修会を開催しました。研修会では、市から部活動地域移行の今後の方針とスケジュールについて説明を行ったあと、大塚製薬株式会社を招き、「熱中症予防策について」と題して熱中症の仕組みから対策まで幅広く講義が行われました。

参加者からは、「熱中症について、詳しく知ることができてよかった」「とても分かりやすい内容で、もっと多くの人に聞いてもらいたい」などの感想をいただきました。



５月２９日（水）に令和６年度第１回地域部活動推進協議会を開催しました。「ガイドライン」の共有，年度スケジュール，課題の洗い出しやアンケートの実施に向けた協議を行いました。

○ 休日の地域部活動移行についてのスケジュールは次のようになります。

R6
① モデル校による休日の部活動の地域移行に向けた検討
② 次年度に向けた拡大
スケジュールと方針の提示
市来地区の中学校で実施
モデル校拡大に向けた学校、保護者等への説明会の実施

R7
① モデル校２校による休日の部活動の地域移行実施
② 中学校区単位に拡大した地域の検討
部活動の受け皿となる団体（地域）の整備および運営主体の検討
市来地区と串木野地区の２中学校で実施

R8
① 全ての休日の部活動の地域移行に向けた検討
② 平日の部活動の地域移行に向けた検討および方法の確定

R9
① 平日の部活動の地域移行に向けた検討および改革の推進
当面の間⇒学校部活動と地域部活動の併存

地域部活動指導者の研修会への参加

お声作の検討

地域部活動の普及・啓発および実践を兼ねた休日の部活動の段階的地域移行

部活動実態調査の結果

全中学校に実施した実態調査の結果は，次のとおりです。
期間の競技専門率や中学生の入部率から，今後の方向性を検討していきます。

部活動期間の専門率

入部率

令和７年度
モデル校

令和７年度のモデル校は串木野中学校に決定しました。
串木野中学校には，10の部活動があります。（R6.４月時点）
今後，地域部活動指導者の人材を確保し，令和７年度からの休日の部活動地域移行に向けて準備を進めていきます。

【部活動地域移行通信第1号】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【地域部活動の様子：バドミントン】



【地域部活動の様子：弓道】



【地域部活動の様子：女子バレーボール】

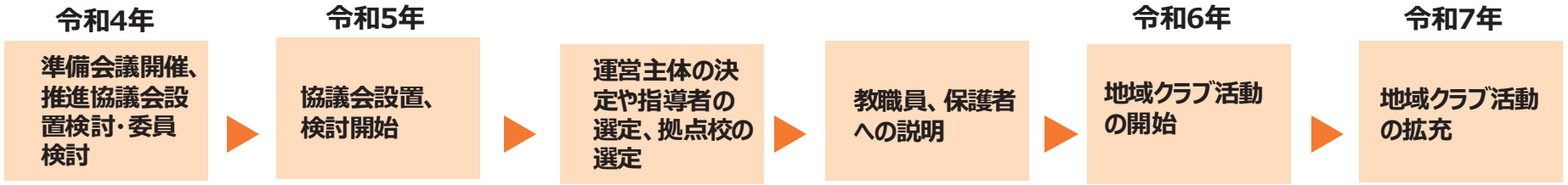


【地域部活動の様子：野球】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



●ステークホルダー

学校、市スポーツ協会、市スポーツ少年団、市文化協会、市PTA、地域部活動コーディネーター、教育委員会

●経過

令和4年度に部活動の地域移行に向けた準備会議を開催し、地域部活動推進協議会設置の検討・協議会委員の検討を行い、いちき串木野市地域部活動推進協議会設置要綱を制定した。令和5年度に推進協議会を開催し、市が運営主体となり地域移行を進める事や地域移行に向けた推進計画および令和8年度までの活動方針を策定した。そして、令和6年度から実施する地域部活動の拠点校を決定し、教職員、保護者に対して説明会を行った。また地域部活動コーディネーター設置規則、地域部活動指導員設置規則を制定し、人材の発掘に取り組んだ。令和6年度は、5月から1中学校の5部活動（うち運動部活動4）において、休日の部活動の地域移行を実施した。また、推進協議会において、令和7年度に実施する地域部活動の拠点校を1校から2校に拡充することが決定された。

●実施にあたって生じた課題

平日の部活動を指導する顧問と休日の地域部活動の指導者との連携が上手く取れないときがあった。また、保護者等から地域指導者への謝金を含めた地域移行の運営に係る経費について、負担増を懸念する意見が多くあった。そして、中体連の大会など学校単位で登録しているため、部活動と地域部活動の区別が明確でない。地域指導者（顧問の兼職兼業を除く）の確保などが課題として挙げられる。

●実施内容、工夫した点 等

令和6年5月から1中学校の5部活動（うち運動部活動4：バドミントン・弓道・女子バレーボール・野球）において、休日の部活動の地域移行を実施した。指導は、運動系の地域指導者11名（うち兼職兼業4名）で行った。実施にあたって生じた課題等については、地域指導者、校長、教頭、地域部活動コーディネーター、教育委員会による意見交換会を行って解決を図った。（9月・1月）

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

市学校部活動の地域移行に係るスケジュールについて

	R６	R７	R８	R９以降
R６年度～R９年度にかけて段階的移行実施	① モデル校による休日の部活動の地域移行実施 ・ 保険加入 ・ 成果と課題のまとめ ② 次年度に向けた事業拡大 ・ 地域指導者の確保 ・ モデル校の拡充を検討 ・ R7 年度予算の検討 スケジュールと方針の提示 市来地区の中学校で実施 モデル校拡大に向けた学校，保護者等への説明会の実施	① モデル校２校による休日の部活動の地域移行実施 ・ 保険加入 ・ 成果と課題のまとめ ② 中学校再編に併せた事業の検討 ・ 再編後の部活動設置についての検討 ・ 地域指導者の確保 ・ R8 年度予算の検討 部活動の受け皿となる団体（組織）の整備および運営主体の検討 市来地区と串木野地区の２中学校で実施	① **全中学校による休日の部活動の地域移行** ② 平日の部活動の地域移行に向けた検討及び改革の推進	① 平日の部活動の地域移行に向けた検討及び改革の推進 当面の間⇒学校部活動と地域部活動の併存（中学校２校による合同部活動、地域指導者等の配置等について随時検討を行う。）
	地域指導者等の研修会への参加			
	方向性の検討	地域部活動の普及・啓発及び実践を兼ねた休日の学校部活動の段階的地域移行		